



HMV.co.jp

Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会 (会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

<http://www.daianji.or.jp/jdgn/index.html>

編集：浅川千尋 ([asakawa@mild.ocn.ne.jp](mailto:asakawa@mild.ocn.ne.jp))

編集委員より：会員の皆様からの積極的なご投稿をお待ちしています！

## ● 行事報告

### 1. 9月24日・25日ケルン雅楽アンサンブルとの国際交流

9月24日(日)、「雅楽フェスティバル in 天理」(奈良日独協会共催)の公演が天理市文化センターで開催されました。ケルン雅楽アンサンブルを中心に天理大学雅楽部、斑鳩雅楽会、夏美雅楽会、河原町雅韻会、おやさと雅楽会の出演で行われた演奏会はとても素晴らしく、雅楽の世界を堪能しました。翌日の25日(月)には、



ケルン雅楽アンサンブルによる奉納雅楽演奏



宝物殿にて、交流会参加者の皆様

ケルン雅楽研究会メンバー8名、天理大学留学生1名、ケルン大学教員2名、天理大学雅楽関係者2名が大安寺を訪れ、参拝後、獅子吼殿にて奉納雅楽演奏を賜り、日独協会会員9名との交流を楽しみました。日本でも触れることが少ない雅楽演奏を間近で鑑賞し、実際に楽器や楽譜を見せていただきながら、雅楽の世界を知る

ことが出来たととても貴重な機会でした。  
(小山会員)

### 2. ドイツ大使主催の Sommerfest へ参加して

真夏の日差しが残る9月18日、ドイツ大使公邸で開催された Sommerfest に参加いたしました。冒頭でゲッツェ大使ならびに東原会長からご挨拶があり、八木前駐独大使の音頭で乾杯の唱和となった後、美味しいお酒と料理を囲みながら歓談へ。今回は若手会員の中でも学生や20代が多い印象で、私は少し先輩的な立場から、留学での経験や今夏にドイツ語圏4カ国を周遊した話等を交えつつ意見交換をしました。

各々がドイツに興味を持ったキッカケは実に多様で大変興味深かったです。ただ、事前には全国から召集されると伺っていたため、参加者の大半が関東勢なうえ、名簿はおろか名札の用意すらなく、お庭の拝見も叶わなかったのは残念でしたが、貴重な機会を授けて頂いたことに深く感謝申し上げます。願わくは今後の継続的かつ発展的な会員の交流のために、ぜひ関西でも同様の場が定期開催されることを期待しております。(米田真理子会員)

### 3. 第12回大安寺国際縁日開催

11月3日大安寺にて国際縁日が開催され大安寺境内にて、ベトナム巡礼団の音楽演奏



ベトナム巡礼団の皆様

や、奈良で活動されている蟻の会合唱団との交流、アジア各国からの留学生たちによる歌や踊り、水野会員団長のアゴラ音楽クラブ和太鼓演奏などのステージパフォーマンスが繰り広げられました。また、境内ではアジア各国の留学生による屋台、文化の体験ブースも設けられ、まさに国際縁日にふさわしい催しになりました。

#### 4. 第5回奈良日独協会ドイツ映画鑑賞会と第29回シュタムティシュ開催

11月26日(日)大安寺獅子吼殿にてドイツ映画鑑賞会が開催されました。当日は、河野会長をはじめとして13名が参加しました。「ハンナ・アーレント」を鑑賞しました。終了後、シュタムティシュが引き続き開かれ、12名の参加者で映画やドイツ等の話題に花を咲かせました。

#### 5. 第10回ドイツ料理教室開催

10月22日(日)ドイツ料理教室が奈良市生涯学習センタークッキングルームにて開催されました。講師の土井ギーゼラ先生のご指導の下、キッシュ(Quiche)とキルシュタルト(Kirschtalt)を作りました。第11回同教室は、12月10日(日)に開催されました。

#### ●会員だより(新会員 岡本肇子さん)

##### 私とドイツ語

娘がドイツ人と結婚してNZに住んでおり、孫が二人います。その孫たちのルーツの半分であるドイツという国のことをもっと深く知りたくて、ドイツ語を学びたいと思いました。8年前のことです。それまでは、まったく習ったことのない言語でした。ネットで調べて、大阪のゲーティンスティテュートに電話しました。「まったく初めてなんです、大丈夫でしょうか？」という、受付の女性が、「大丈夫です」と太鼓判を押してくれたので、高額(?)の授業料を払って、通い始めました。ドイツ人の先生が、ドイツ語で、ドイツ語を教える、というシステムでした。最初の授業はドイツ語で自己紹介をするとい

うことで、パターンに当てはめてそれぞれがプライベートを暴露し合いました。しかし日々の授業は皆目わからず、最初に覚えた言葉は「パウゼ(休憩)」でした。別れの言葉「アウフビーダーゼーエン」は覚えられず、「チュース」で通しました。

次にショックだったのは、名詞に中性名詞というものがあると分かった時です。男性と女性の二つならまだしも、三つに分類されるとなると労力は三倍になります。年齢的にも記憶力が衰えているときだったので、ほんとに腹が立ちました。(ドイツ語のバカヤロー!)



NZ(ニュージーランド)のお孫さんゲーテに二年間通って、なんとか初級は終了しましたが、中級に進級することはあきらめました。聞いたり話したりする力はなかなかつきませんが、辞書を引けばドイツ語の意味がわかるようになりました。ミヒャエル・エンデの「モモ」を、辞書を引きながら自分なりの言葉で訳していくのが、今一番楽しいです。ノートも10冊目になりました。来年の春ごろには読み終わる予定です。孫たちの成長を楽しみつつ、私もドイツ語の勉強を続けていきたいです。

##### 編集後記

次号は、クリスマス会、会長新年挨拶等をメインとした内容を予定しております。(浅川)

なお、SNSで日独協会やドイツの情報を発信しております。

Facebookは、奈良日独協会(Japanisch Deutsche Gesellschaft Nara)

Instagramは、narajapanischdeutschです。